

令和4年の主な海洋汚染事例

～海洋汚染事例1（船舶からの油排出による海洋汚染）～

和歌山県潮岬沖貨物船油流出事案（排出原因：衝突海難）

令和4年8月、和歌山県潮岬沖においてケミカルタンカー（595トン）と貨物船（2,972トン）が衝突し、貨物船の船体外板亀裂部からの浸水に伴う緊急船外排水により、廃油など約4リットルが海域に流出したものの。



～海洋汚染事例2（船舶からの油排出による海洋汚染）～

和歌山県和歌山港内タンカー油流出事案（排出原因：取扱不注意）

令和4年9月、和歌山県和歌山港内に係留中の油タンカー（131トン）において、自船燃料（A重油）を移送するため、移送用ポンプのスイッチを手動で起動したが、自動停止に切替えることを失念したことにより、燃料タンク空気抜き管から溢れたA重油約8リットルが海域に流出したものの。

